

## スマートシティ会津若松

福島県会津若松市では、情報通信技術や環境技術などを活用し、健康や福祉、教育、防災、さらにはエネルギー、交通、環境という様々な分野での結びつきを深めながら、市民生活を効率化・高度化していく環境配慮型都市「スマートシティ構想」に向けて、産官学連携による取り組みが推進されている。持続力と回復力のある力強い地域社会、市民が安心して快適に生活できるまちづくりを目指す、復興に向けての一大プロジェクトである。

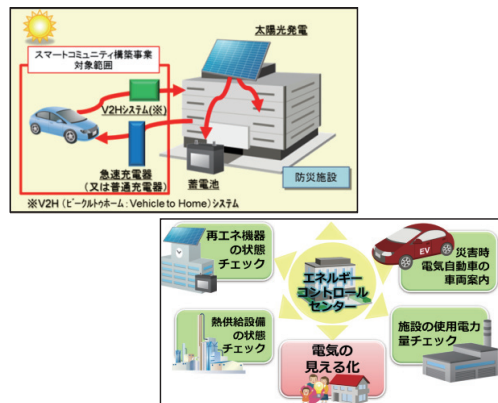
### 背景

会津若松市の「スマートシティ会津若松」の取組みの一つに、会津若松市、富士通(株)、東北電力(株)、富士電機(株)(富士グリーンパワー(株))、昭和リース(株)が着手している「会津若松地域スマートコミュニティ導入促進事業」がある。再生可能エネルギーの普及を目指し、太陽光発電／蓄電池を導入、同時に地域の防災を強化し、雇用を促進。エネルギーコントロールセンターを中核とした事業構築等を推進している。

また、富士通(株)では、植物工場「会津若松Akisaiやさい工場」を開設し、機能性野菜の開発と市場の創造、スマート農業の開拓、次世代育成など、農商工医・教育機関等との連携により新たな価値を創造するオープンイノベーション拠点として「スマートシティ会津若松」への貢献を目指している。

### 概要

- 太陽光発電／蓄電池を使った地域の防災強化として、災害時に電気自動車(EV)を使い避難所へ電気を届ける仕組みを整備(会津若松市、富士通)。
- 雪国型メガソーラー発電所を構築・運営(昭和リース、富士グリーンパワー)、エネルギーコントロールセンターを企画・構築(東北電力、富士通)、地域での再生可能エネルギー発電状況の見える化、地域への情報サービス、家庭向けデマンドレスポンスサービス等を提供。デマンドレスポンスサービスでは、お客様の節電状況に応じて電子マネーに交換可能なポイントを付与(富士通)。
- 植物工場での先進ICTによる新たなスマート農業を実現。これにより、農業の先端産業化、東北の復興、食の安心・安全の推進に貢献(富士通)。



### アピールポイント

- エネルギーコントロールセンターからのマネジメントを通じて、太陽光パネル、蓄電池、電気自動車を活用し、災害時最大72時間分の電力を確保。(太陽光発電／蓄電池を使った地域の防災強化)
- 富士通は「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティの実現」を掲げ、ICTの利活用によって人がより豊かに安心して暮らせる社会づくりを目指している。社会の変革を支えるドライバーとして、スマートシティを積極的に推進している。



### 人

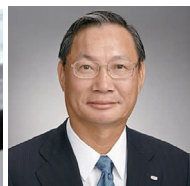
#### Key Person

富士通株式会社 スマートシティ・エネルギー推進本部 シニアエキスパート 多田尚人氏：「会津若松地域スマートコミュニティ導入促進事業」の幹事会社プロジェクトマネージャーとして事業推進に貢献。

富士通ホーム&オフィスサービス株式会社 特命顧問 今井幸治氏：「先端農業産業化システム実証事業」のプロジェクトリーダーとして、会津若松 Akisai やさい工場の短期立上げに貢献。



多田尚人氏



今井幸治氏

富士通株式会社 <http://jp.fujitsu.com/>

(詳細はこちら) <http://jp.fujitsu.com/about/csr/feature/2012/smartycity/>

富士通コンタクトライン ☎0120-933-200 受付時間：9:00～17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)